

シカゴ

CHICAGO

鑑賞日：2017・5・8

制作 2002年 米

上映時間 113分

監督 ロブ・マーシャル

脚本 ビル・コンドン

作曲 ジョン・カンダー、ダニー・エルフマン

出演者 レニー・ゼルウィガー、キャサリン・ゼタ＝ジョーンズ、リチャード・ギア

受賞 第75回アカデミー、作品、助演女優（C・Z＝ジョーンズ）賞等6部門受賞

（あらすじ）

1920年代のシカゴ。ナイトクラブで踊るヴェルマ（C・Z＝ジョーンズ）の歌とダンスを陶然としてロキシー（R・ゼルウィガー）は見つめている。彼女の夢はショー・ビジネスの世界で成功することだ。ロキシーは夫のいる身で、浮気をしている。浮気相手は「デビューのチャンスをやる」と彼女をだましていたが、それが嘘と分かり、射殺してしまう。刑務所に入ったロキシーはそこで、憧れのヴェルマと出会う、ヴェルマは自分の亭主と妹が密通している現場を見て、二人を射殺したため刑務所に入れられたのである。ヴェルマは巧みに女看守長のママ・モートンを買収し、辣腕弁護士ビリー（R・ギア）を雇うことに成功する。ビリーは、マスコミ操作などを通じて犯罪者を新聞の一面を飾るスターに生まれ変わらせる術に長けていたのである。ロキシーはママを通じてビリーに弁護を頼み、お人よしの夫エイモスは弁護料を工面してようやく雇うことができた。ビリーはロキシーの生い立ちをすっかり書き換えてしまった。「両親を亡くし、修道院で育ったわたしは男にだまされ、自分の過ちに気付いた私は男と別れようとしたが、別れ話がつれて、男を殺してしまった。今は後悔しています」と法廷で涙ながらに話すロキシーに世間の同情は集まり、『シカゴ史上最もキュートな殺人犯』と一躍有名人となった。ビリーの作戦は当たり、ロキシーは一つのブランドとなり、巷にはロキシーの髪形をまねた女たちが溢れ、オークションにかけられた彼女の持ち物は飛ぶように売れた。しかし、シカゴでセンセーショナルな事件が起きるとマスコミの関心はすぐ移り、すると、ビリーたちはロキシーの妊娠を発表し巻き返す。その間裁判は進行して、とうとう判決の日が来た……

（解説）

20世紀を代表する振付師であり、ブロードウェイで一時代を築いた演出家、ボブ・フォッシーの代表作「シカゴ」の映画化である。殺人を犯し、刑務所入りというスキャンダルを逆手にとって、ショービジネスの世界で頂点に上り詰めようとするしたたかな女達を描いている。監督のロブ・マーシャルはミュージカルの舞台では著名の演出家で、サム・メンデスとの共同演出、振付けによる「キャバレー」はトニー賞を得ている。映画の監督は初めてだが、「シカゴ」の舞台を映像に置き換えることに見事に成功している。作曲は「キャバレー」のジョン・カンダーと「スパイダーマン」のダニー・エルフマン。この映画は耳に馴染みやすい曲が多く、全曲吹き替えなしでキャストが歌っている。ロブ・マーシャル監督の巧みな手綱さばきのもと、ゴージャスな曲とダンスに加えて、レニー・ゼルウィガー、キャサリン・ゼタ＝ジョーンズ、リチャード・ギアと3人の芸達者を揃え、1920年代の雰囲気伝えて、上質なミュージカル映画となった。